

全体会議①質問概要

- ・ 他都市や諸外国の雪対策はどうなっているか。
- ・ 今ある排水溝を排雪に利活用してはどうか。
- ・ 除排雪以外に、雪をなくす研究はされていないのか。
- ・ 融雪溝や発熱性のアスファルト等、雪の新しい処理法は進んでいるか。
- ・ 雪文化のメリットを活用している他国の事例と、雪に合わせたライフスタイルを送るための取組はないか。
- ・ 流雪溝について（なぜ 8 ヲ所なのか、メリット・デメリット、コスト、今後の計画は？）
- ・ 市民や除排雪業者に対して、除雪の「教育」「マニュアル」の徹底はされているのか。
- ・ 札幌市の除雪の長期計画は。専門家が考える都市計画ビジョンは。
- ・ 雪の活用について、研究機関や人材育成のための取組はあるか。
- ・ 下水道施設の活用や融雪溝の設置がアイデアとして考えられるが、費用対効果を教えてほしい。
- ・ 雪対策に関する予算繰越の可否、市がすべてを負担した場合の一人当たりの増額分、除雪費用の徴収義務化条例や制度ができるか。
- ・ 予算を含めた行政（国・道・市）の役割分担はどうなっているのか。除雪予算（全体予算の 1.7%）は適切なのか。川・海・流雪溝・街中の遊休地を活用して、予算を効率的に使うことを検討しているのか。
- ・ ダンプなどが減っていることへの対策など、排雪事業計画への議論があったら、具体的に教えてもらいたい。除雪ができない世帯へのサポートの考え方について、議論があったら具体的に教えてもらいたい。
- ・ 冬の災害を防止するために、今何をやっているのか。
- ・ 流雪溝・融雪溝の設置等、理想的な除雪・排雪を考えて費用を試算したら、どのようになるか。

全体会議②質問概要

- ・ 各地域町内会で、どのような動きをすれば良いか。行政はどう関われば良いか。
- ・ 学生の有償ボランティアの先進事例はあるか。
- ・ 市は、地域コミュニティ・町内会に今以上に関わって整備を考えているのか。
- ・ 市民や企業のマナー育成をどう考えているのか。（罰則・報償・助成・個人委託などを含めて）
- ・ 除雪⇒集雪⇒排雪 集雪場をつくる。学校の校庭や公園を活用する規制・法律・現実の問題はあるか。
- ・ 福祉除雪の範囲をどう考えているか。
- ・ 従来の雪処理の考え方ではなく、「まちづくり」等の違う考え方の雪対策といった 20～30 年後を見据えたビジョンはあるか。
- ・ 市の広報不足、どうしたら市民が同じ情報を持てるか。（結果、やっていることもわからない）
 - 今後の高齢者住宅の除雪対策（福祉除雪サービス等を市民が知らない）
- ・ 札幌市の管轄外の道路も含め、国・道・市から、他団体（三セク、民間など）がまとめて対応していくことは可能か。
- ・ 市内で、高齢者が先進的に取り組んでいる地域はないか。元気な高齢者と学生が、教育の一環として活躍できる組織づくりを市が率先して取り組む予定はあるか。
- ・ 区画ごとに小規模の排雪場（雪ステーション）を設けることにより、排雪距離が短くできないか。
- ・ 市は、冬の交通渋滞緩和のために、どんな取り組みをしているのか。しようとしているのか。
- ・ マナー教育やボランティア活動を充実させていくため、市の広報や PR 活動を強化する計画はあるか。
- ・ 市内に生活道路の除排雪モデル地区はあるか。モデル地区をつくって、費用や住民のモラルなどを検証すべきではないか。
 - 理想的な新しい雪対策について、専門家の方の見解を教えてもらいたい。特に融雪法についてや介護・福祉サービスに付随した除雪について。